

様式第4号(第15条関係)

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 平成29年度第3回近代文学館運営審議会
- 2 開催日時 平成30年3月7日(水)午後1時30分
- 3 開催場所 近代文学館視聴覚会議室
- 4 会議に出席した者
 - (1) 委員
千田 秀子 青木 郁子 木田 真由美 清野 守
古内 世紀 斎藤 順一 廣瀬 安子 沖田 万里子
 - (2) 事務局
扇子 美津男 館長 伊勢 由利 館長 草刈 明美 主幹
- 5 会議を欠席した者
 - (1) 小嶋 恵美子
- 6 議題及び会議の公開・非公開の別 公 開
- 7 非公開の理由
- 8 傍聴人の人数 な し
- 9 会議資料 別 紙
- 10 会議の概要
 - (1) 審議結果
 - ・平成29年度事業報告について説明し承認された
 - ・平成30年事業計画について説明し承認された。

(2) 詳細な意見

伊勢館長 今年度最後の運営審議会を開催します。千田委員長がまだお見えではないので青木副委員長、代理で挨拶をお願いします。

青木副委員長 何もしないうちに一年が過ぎてしまい、みなさんいかがでしょうか。今日は事業報告、事業計画をみなさんで話し合っ活動につなげていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。

伊勢館長 それでは署名委員の選出ですが、清野さんと沖田さん、よろしくお祈ひします。

それでは、協議に入ります。平成 2 9 年度事業報告から青木副委員長に進行をお願いします。

青木副委員長 協議に入ります。平成 2 9 年度事業報告からお祈ひします

草刈主幹 それでは図書館部分から報告します

近代文学館(小牛田図書館)の図書館館内事業について配布資料に従って説明

伊勢館長 南郷図書館館内事業について配布資料に従って説明

世界に飛び出すおはなし会が大崎タイムスに大きく取り上げられた

草刈主幹 館外サービス、施設見学について配布資料に従って説明

倉橋主査 町民ギャラリーについて配布資料に従って説明

草刈主幹 視聴覚会議室で開催された講座について説明

「シンポジウム千葉亀雄についての所感」1月20日に行い吉野作造記念館とのコラボ展から派生しているもので、千葉亀雄を読む会の有志の3名の方がシンポジウムを開きまして、千葉亀雄と父恒平、千葉亀雄と同時代に生きた文学者、千葉亀雄の文学的批評からシンポジウムを開き50名の参加があった。

体験学習の受け入れについて配布資料に従って説明

以上で平成 2 9 年度の事業報告を終わります。

沖田委員 世界に飛び出すおはなし会では去年は英語、中国語、スペイン語、韓国語の4か国語で行っていたが時間の関係で浅くなってしまうので、今年韓国語1か国語で行った。耳からよく入り集中できたおはなし会となった。帰りに『さよなら』も韓国語で話していた。子どもたちはすごいと感じました。

青木副委員長 ほかにありませんか

木田委員 事務的なことですが、事業ごとにナンバリングをつけてもらうと分かりやすい。

ギャラリー企画展が10から18に増えているが、自主企画なのか貸館なのか分かるような形で書いてほしい。

- 扇子館長 わかりました。
- 木田委員 ギャラリー利用についてPRしているのか教えてほしい。
- 扇子館長 今回も半数近くは新しい企画になっている。近代文学館に来た方で特技を持っている方、例えば、早坂さんのセンスアートや年間を通して作品を提供してくださっている水越さんに個展を開きませんかと声掛けをしたり、佐々木捷子さんにつきましては、歴代の河北展に入賞入選歴がありますので、個展を開いてみませんかとここでコミュニケーションをとっている間にできていることと、あと、不動堂美術展については不動堂中学校で美術活動が盛んだということを聞いていましたので、こちらのほうからアプローチしたものです。そういうものに関しては共催ということにしています。収蔵展につきましては、自主企画展であるものをすべて出して行ったものです。これらの実績を貯金して、2年分3年分その中から今年できるものを作家さんにアプローチしてやっていこうかと考えております。あとは、絵手紙の展覧会など表現の場として使っていただきたい。このような場合は無料で利用できるなどのPRを窓口で行っていったほうがいいのかと感じます。
- 木田委員 ほかの社会施設と同じようにギャラリーがいつ空いているかをお知らせすると利用されやすいのではないか
- 扇子館長 高齢者の方など様々な活動をされている方がいらっしゃるので声掛けをしていきたい
- 千田委員長 3つの提案がありましたが、可能なことだとおもうのですが。
- 扇子館長 実施できていなかったところですので、次年度から実施していきたいと思います。
- 斎藤委員 涌谷高校の読み聞かせ講座に参加した生徒に修了証のようなものを発行し、その生徒が幼稚園、小学校へ出かけていき習ったことを子どもたちに返していくことが必要ではないか、そういうところまで責任が持てるような事業であればいいなと思いました。
- 草刈主幹 涌谷高校の授業の一環でした。3回講座の導入部分のおはなし会の方法ということで第1回目に講師として呼ばれて行きました。第3回目に涌谷町内の幼稚園や小学校に入っておはなし会を行っていました。
- 青木副委員長 この講習会には私も過去3回ほど参加をさせていただきました。毎年案内状も来ていたが、2年ほど前から来なくなりました。聞いてみたところ担当の先生が変わり、今は校内の人を。
- 草刈主幹 大人の方も入っていますが、町内の方を対象にしているかもしれません。広報報にも掲載しているので、開放講座のような形で、一般の方も参加くださいという形をとっているようです。
- 斎藤委員 町民ギャラリーですが原爆展が協力事業とありますが、どの団体との協力事

業ですか。

伊勢館長 まちづくり推進課です。

斎藤委員 それから、残念だったことがルネッサンス講座にぜひ参加したかったのですが、広報にあったのでしょうか。イタリアの本と映画の話は非常に興味のあるものです。ルネッサンスと映画がどのように結びついたのか、好評だったということなので、どのように好評だったのでしょうか。

扇子館長 まず、宣伝ですが、広報オンリーでしたので、行き渡らないところがあったので、半期ごとにチラシを全戸配布するなどしたほうがよかったかと感じていました。

斎藤委員 イタリア映画の監督は共産党員がおおくて、ルキノ・ビスコンティの一族は中世ルネサンス期の貴族だったので、そういうところと絡み合わせた講演だったらぜひ聞きたかった。

千田委員長 こういう企画をしたことで興味を持つので取り組みが発展できるのではないかと思います。

木田委員 美里町のホームページに催し物の一覧のようなものはあるのでしょうか

伊勢館長 ホームページのなかにあります。

木田委員 図書館の枠の中でもっと詳しく顔写真などもあるようなものはできないのでしょうか。

扇子館長 木田委員がおっしゃられた通りだと思います。実は県内博物館の代表者会議に先日出席し、すでに財団やNPO法人で運営しているので、入館者数などの実績を問われているので、電子媒体を駆使して行っている。むしろ、公立の図書館は遅れているのではないかと感じてきました。検索やインスタグラム、フェイスブックですとかSNSで顧客を確保しようと必死なんですね。公立の施設も真剣に考えていかなければならない時代ではないかと。単なる人集めではなく、活性化とか文化の振興を目的としたものじゃないと、文学館、図書館の持つ意義を果たせないのではないかと思います。

青木副委員長 最新の情報を更新してもらおうといいです。イタリア講座はカウンターにあったチラシを知り合いに配りました。とてもいい講座でした。30年度も企画しているようなのでとても楽しみです。

扇子館長 (講師の)ご実家が化粧坂なので毎年来ていただけるようです。

千田委員長 先ほどのNPOで行っているSNSなどの情報の編集などは可能なのですか。

扇子館長 内々で打ち合わせを行いました。SNSの設定などできるようです。町のセキュリティのほうで縛りがきついと思ったのですが、そうでもなく、進める方向です。

古内委員 今まで実施した事業が分かる、写真などが入った実施報告のようなものが館

内に置かれているいいと思います。

草刈主幹 文学館だよりというものがありますが、事業の予定が主な内容になるので、今後は実施した報告も掲載していきたいと思います。

斎藤委員 資料として残す上で、写真と文字化として残すということもあるのでしょうか。けれど、演者が許せばDVDに録画して機会があるごとにいろんな人に見てもらおうということも可能なのではないかと思います。

千田委員長 いろんな宣伝の方法で図書館を知ってもらおうということですね。

扇子館長 伊達政宗御霊屋博物館長の話ではインスタグラムにあげてから若い人が2000人ほど増えたということです。

千田委員長 千葉亀雄の特別展は画期的なことだと思いますが、ご意見ありませんか。

扇子館長 この件に関しては、近代文学館が丸がかりで行ったということ、千葉亀雄を読む会の方々にパネルなど多くのものを作っていただいたということ。今回この企画は吉野作造先生と千葉亀雄先生がたまたま同じ年生まれだったところから始まっています。そこから、いろんな詳しい調査が入りまして、千葉亀雄さんのお父さんの生き様が千葉亀雄さんに継承されておりまして、そういう生い立ち部分や、千葉亀雄さんがジャーナリストとして活躍した時代には「花子とアン」の村岡花子さや女性政治家の市川房枝さん、林文子さんなど女流作家、女性政治家との繋がりも多かったということで、ジャーナリスト以外のフェミニストとしての運動家ということが分かりました。千葉亀雄を読む会の持っている情報を近代文学館の職員が相互に持つことによって新たに浮かび上がってきたものだと思います。ただそれは、文学碑が40年ほど前にできているんですけど、その時にはすでに分かっていたことなんです。吉野作造さんと千葉亀雄さんが仙台一高時代のことや東京でデモクラシーを唱えたとかは文学碑を建てた顕彰会のみなさんで情報共有ができていたんです。そのときにいつか、二人のコラボをした企画をしなければならぬという話になっていたようなんです。

千田委員長 今年日の目が当たって実現したということなんですけど、もっともっと見てほしかったと思います。宣伝もそうですが、一回で終わらずに、これからも吉野作造記念館と一緒に展示や企画をコラボしていけば、発展できるのではないかと思います。

扇子館長 千葉亀雄がジャーナリストだったから、日本全国の文豪の方たち、政治家との繋がりがあり、それらのことを文学室に資料化できるのではないかと、読む会から話がありまして、そうすると、文学室が別な形でバージョンアップするのではないかと思います。将来の展開について教育委員会とすり合わせていきたいと進められればと思います。

千田委員長 ぜひ継続をお願いします。

- 千田委員長 それでは30年度の事業計画についてお願いします
- 草刈主幹 配布資料に従って図書館事業計画を説明
- 倉橋主査 配布資料に従って町民ギャラリー事業計画説明
- 千田委員長 30年度の事業計画についてご意見ありますか。
- 斎藤委員 子どもの展示会は日本で出版された絵本についてですか。
- 草刈主幹 そうです。県立図書館で巡回展を行います、そちらを借りて、自館で所蔵している本も併せて展示します。
- 斎藤委員 美里の歴史・文化展は自主企画ですか。発掘して出土した資料がどこから出てきたのか分かりやすいように、貝塚など当時の海岸線などの地形図などを作って立体的に作って分かりやすくしてほしい。素山周辺まで海が来ていたということ、現在の地形と当時の地形を重ねて展示してほしい。
- 千田委員長 素山貝塚は埋め戻す前に副読本を作る関係で海のあるところ、館のあるところと資料があると思うので、先生方が地元の歴史を知ることで見ますので、それらの資料を掘り起こせば、地図作りの参考になるのではないかと思います。
- 斎藤委員 子どもの想像力を充分に発揮できるような資料の環境を整備していくのが大人の役目ではないと思います。
- 千田委員長 3.11のときに小牛田の地形が問題になり、地盤が軟らかいところは川が流れていたなど調べているので、そういうところと連絡を取れば多面的に資料が集まるのではないのでしょうか。
- 千田委員長 そのほか何かありませんか。このあいだ、第1回選書会を行ったのですがそのことについてはどうでしょうか。
- 伊勢館長 その他のところで報告します。
- 扇子館長 情報として資料をお渡しします。
選定会議の内容について概略を説明します。
配布資料に沿って説明
- 斎藤委員 考古学民俗学の専門書についてはその通りですが、町は歴史資料館が作ったのですから、そこに携わる職員が学べるような専門書を置いたらいいのではないかという意味です。
- 千田委員長 参加してとてもよかったです。いろんな意見が出ましたが、それを全部図書館にお願いするのは難しいと思いましたので、図書館を支える友の会のような組織があれば、もっと図書館への要望が届くのではないかと思います。選書会は本当に参加してよかったと思いますので、審議委員のみなさんもこれから交代で参加していただけるようお願いいたします。まだまだ意見があると思いますが、選書の報告の中にある生涯学習の場である図書館を支援できれば最高のことであると思います。

木田委員 学校からのお願いがあるのですが、学校に学校日誌というものが眠っているのですが、年代も経っているので、捨てるわけにもいかず、古くからの小学校にはこのようなものが。

伊勢館長 古文書になると文化財のほうがいいのではないかと。まだ、3月の文化財保護委員会が終わっていないのではないかと。

扇子館長 3月下旬に行うと言っていました。

木田委員 保存年限はすでに過ぎており、保存状態もよくないのですが、捨てられない状況です。

伊勢館長 文化財の係のほうで南郷にも古い古文書のようなものがあり、全部運んできて改善センターが委託される際に、いろいろな資料がありましたので、司書と文化財係で学校の方に行き、見させてもらって引き揚げてくるということでもいいのではないかと思います。斎藤委員が歴史資料館ができたというおはなしもありましたが、今月末に開催する今年度最後の文化財保護委員会の中で、今後歴史資料館をどのように活用していくか協議していただいてその中で、閉架書庫にも民俗学関係の本がたくさんあるので、展示をするなど意見を出してもらって、歴史資料館をみなさんに見てもらえるような方策を模索していきますので、一度捨ててしまったら二度と手に入らない資料ですので、担当の文化財と司書と相談して進めていきたいと思っております。

千田委員長 それではこれで終了といたします。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成 30 年 月 日

委 員 _____

委 員 _____